

許 可 番 号	倫-440
研 究 課 題 名	Keyhole surgery にて clipping 術を施行した未破裂脳動脈瘤の治療成績に関する検討
診 療 科	脳神経外科
研 究 責 任 者	山本 拓史
資 料 ・ 情 報 の 管 理 責 任 者	防衛医科大学 脳神経外科 森 健太郎
研究の目的と方法	<p>目的</p> <p>我々は未破裂脳動脈瘤に対する低侵襲手術を確立するために、直径 25~30 mm の supraorbital keyhole あるいは pterional keyhole を用いた極小開頭術からの clipping 術を施行してきた。その手術手技に関しては学会誌や手術書に発表してきた。</p> <p>今回、Keyhole surgery にて clipping 術を施行した未破裂脳動脈瘤の神経学的あるいは放射線学的な治療成績に関する検討を、retrospective に行うことを目的とする。</p> <p>方法</p> <p>2005 年 7 月から 2012 年 3 月までに順天堂大学医学部附属静岡病院脳神経外科にて施行された keyhole clipping 術の 224 例を対象とする。対象となる未破裂脳動脈瘤は中大脳動脈瘤、前交通動脈瘤、内頸動脈瘤である。入院および外来診療録から手術前後の神経学的状態を認知機能 (HDS-R, MMSE) および精神状態 (Beck, HAM) などを中心に調べることによって患者の機能状態を継時的に検討する。また手術前後の脳動脈瘤の画像を検討することによって後方視的に clipping による脳動脈瘤の閉塞率などを検討するものである。データ集積は、匿名化した検査結果のみを集積する。</p>
利用、又は提供する 試料・情報の項目	診療記録、画像検査結果、神経学的認知機能検査
研 究 対 象 者	Key hole surgery (鍵穴手術) にて根治術を受けた未破裂動脈瘤の症例
研 究 対 象 期 間	西暦 2005 年 1 月 1 日から西暦 2012 年 3 月 31 日の間
利用する者の範囲	多施設共同研究 研究代表機関名：防衛医科大学 脳神経外科 代表研究責任者：森 健太郎

個人情報の取扱いについて	使用するデータは、個人情報特定されないよう匿名化に十分配慮して扱います。 研究成果が公表される場合にも、患者さんが特定できるような情報が公表されることはありません。
お問い合わせ先	該当する研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報を利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。 順天堂大学医学部附属静岡病院 脳神経外科 電話：055-948-3111(代表) 研究責任者：山本 拓史